

## 家庭でできる浸水対策『簡易水防工法』を紹介します

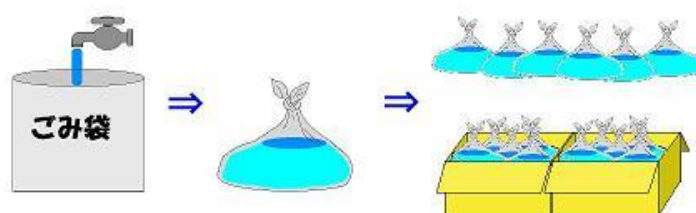
これらは、水深の浅い小規模水災や浸水の初期段階で行うものです。  
雨量や浸水の状況を見極め、避難するタイミングを失わないように注意することが大切です。

### 【ごみ袋を使った簡易水のう】

家庭用のごみ袋に水を入れて、土のうの代わりに使用します。  
ごみ袋を二重または三重にして、水をごみ袋の半分程度まで入れ、きつく縛ります。  
それから、出入り口などに隙間なく並べて使用します。ごみ袋がすぐ破れるときは、重ねる枚数を増やしてください。  
また、買い物サイズのポリ袋でも代用できます。

### 【簡易水のうと段ボール箱の併用】

簡易水のうを段ボール箱に入れて、敷き詰めて使用します。  
強度が増し安定するため、水のうを積み重ねて使用することができます。

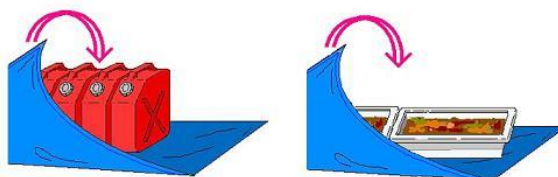


### 【ポリタンクとビニールシートによる工法】

ポリタンクなどに水を入れ、ブルーシートやレジャーシートなどで巻き込んで使用します。  
簡易水のうと段ボール箱との併用もできます。

### 【プランターとビニールシートによる工法】

土の入ったプランター（植木鉢）を使用します。



### 【止水板による工法】

出入り口などに長目の板などを立てかけて固定し、浸水を防ぎます。

